

演習 I

担当者 谷岡 一郎

開講時期 通年

単 位 4

●講義の概要

ラスベガスをはじめ、様々な国のIRもしくはIR類似の施設やその背景、政策、制度の在り方、慣行を題材とし、ディスカッション及びディベートを行う。受講生に予め一定の課題をアサインし、これらを報告の対象とし、議論の対象とすることも含める。必ず自分の意見を述べ、かつ他人の意見を考慮・尊重することが求められる。

●講義の到達目標

IRの歴史や各国の事例紹介を通して、IRに係る一定の知識・知見を習得し、現在及び未来のIRがどうあるべきかを考え、コーディネートするリーダーシップとしての素養を身につける。具体的には2つの目標をクリアする。それらは1) 自分の修士論文のトピックを決定する。2) 論文形式の文章に慣れる、である。

●講義計画

概ね下記概要で実施するが、状況次第では変わることもありうる。

第1回：オリエンテーション／賭博行為の制度的意味

第2回：IRの歴史／日本の賭博

第3回：賭博規制の経済学

第4回：パチンコ文化と日本人

第5回：論文の書き方①：統計基礎

第6回：公共政策と公共目的

第7回：公共政策の実践と規制の実践

第8回：論文の書き方②：因果モデル

第9回：カジノ産業発展の在り方

第10回：(フィールド・トリップ)

第11回：賭博依存症に関する課題と論点

第12回：論文の書き方③：倫理とモラル

第13回：規制機関の組織に対する議論

第14回：(前期発表)

第15回：(前期発表)

第16回：ラスベガス研修の反省

第17回：賭博規制の政治学

第18回：「ラスヴェガス物語」

第19回：法遵守(コンプライアンス)の在り方

第20回：確率と統計

第21回：米国連邦銀行機密法とAMT(対マネーロンダリング対策)

第22回：スポーツと賭け

第23回：カジノ収益の監査及び会計の在り方

第24回：「ツキの法則」

第25回：機械ゲーム、コンピュータゲームの制度的あり方

第26回：ギャンブルと犯罪

第27回：ライセンス(免許)の意義、目的、範囲、深さ

第28回：社会的コスト論

第29回：(課題発表)

第30回：(課題発表)

●成績評価基準と方法

講義への参加34%、ディスカッションの質33%、トピックの決定と質、および文章の提出物の評価33%を目安とする。

●テキスト又は参考文献

講義の中で指示する。英文のものも使用する予定

●受講上の留意点

受講者全員のスケジュール調整によって、状況次第では集中や休日開講がありうる。